

新幹線開業・バス運行を祝して

「駅ナカ」まつり〜旅の始まりは今ココから〜開催

北海道新幹線開業と津軽中里駅〜奥津軽いまべつ駅間バス運行を祝して、津軽半島北部地域観光推進実行委員会（会長・山本馨西北地域県民局長）が3月26日(土)、津軽中里駅にぎわい空間で「駅ナカまつり」を開催しました。町内外から約800人が来場し、会場は大賑わいでした。

まつりは、津軽三味線の演奏で始まり、応援に駆け付けた当町イメージキャラクターの米ケル、イカリん、米ケルJr.や五所川原市のイメージキャラクターのごしよりん、津軽鉄道イメージキャラクターのつてつちーらがダンスを披露しました。郷土芸能ステージでは、御所河原囃子心組、中里横笛愛好会、BBシスターズが登場し会場を盛り上げました。2回公演された金多蔵人形芝居は立ち見客もでいて、さらにはがっぱもちやしじみ汁の振る舞いが行われると長蛇の列ができました。食べた人は「がっぱもちちは素朴な味がいい。もう一つ食べたい」「しじみ汁はダシが出ておいしい。体があたたまる」と話していました。

いまべつ駅からのバスが到着すると、小野町長はじめ、山本会長や津軽鉄道

株式会社・澤田社長らと来場者が乗客を歓迎し、みんなでバス運行の安全を祈願して乾杯しました。

その後、尻相撲大会やジャンケン新幹線ゲームで会場には笑い声が響きました。また、金木中学校の吹奏楽による演奏会では、見事な演奏に会場全体が聴き入り、終了後は大きな拍手に包まれました。最後は、地域の活性・発展を祈つての福豆まきが行われました。東京から訪れたという来場者は「新

幹線に乗ってきた。偶然中里駅を訪れたが、すごく楽しかった。また機会があったら来たい」と笑顔で話していました。

この日は、奥津軽いまべつ駅でもイベントが行われ、中泊メバル料理推進協議会が参加し、メバル汁を振る舞いました。こちらも大勢の観光客が並び、開始30分後には用意した300人分がなくなるほどの人気ぶりでした。



イメージキャラクター大集合



みんなで乾杯



メバル汁も大好評



振る舞いに大行列

高校生目線での商品開発に挑戦

高校生まちづくり塾チャレンジショップ

高校生まちづくり塾では、高校生自らが地域に対する理解を深め、郷土愛やほこり・自信を持つとともに、担い手世代の定任に向けた活力あるまちづくりを目的に、今年是中里高校と金木高校の生徒が参加し、農産物加工品開発を行いました。3月27日(日)は、津軽中里駅にぎわい空間で行われたおもてなしまつりに中里高校生2人、金木高校生2人が参加し、チャレンジショップを開催しました。

このイベントでは、自分たちで開発した、ブルーベリーが入ったシフォンケーキを来場者に配りました。食べた人たちは「ブルーベリーの風味がシフォンケーキと合っていてとてもおいしい。高校生が開発したとは驚いた」と話していました。

また、おもてなしまつりに参加しているベえ子ちゃんらと一緒に踊ったりするなど会場を盛り上げていました。起きて夢見る会の夏原謙二会長がおもてなしの心得について講演すると、高校生らは真剣な表情で聞いていました。

まちづくり塾に参加した高校生らは「大変だったが商品が形になってよかった。食べた人がおいしいと言ってくれて嬉しかった。参加してよかった」と笑顔で話していました。



ベえ子ちゃんと一緒にダンス



来場者に配る

新たにレストラン竜泊が参加

メバル膳協定調印式・認定証授与式

メバル膳を提供する中泊メバル料理推進協議会(会長・中畑哲也)が道の駅ポントマリの中にあるレストラン竜泊(代表・長谷川誠)の加盟を認め、3月24日(日)日本海漁火センターで協定調印式及び認定証授与式を行いました。

調印式は秋元副町長と開発を指導したヒロ中田さんが立会人として出席しました。副町長は「道の駅こまりの改修工事を行っており、もう少しで完了する予定です。今まで以上に、多くのお客様の対応が可能になりますので、期待してください」と話しました。ヒロ中田さんは「提供店舗が5店舗となり、集客の増加が見込める。年間目標の2万食を達成に向けてがんばってほしい。期待している」と激励し、中畑会長から認定証を受け取った長谷川代表は「新幹線の開業で道の駅への観光客も増えると思うので、一生懸命メバル膳をPRしたい」と意気込みを語りました。



今年も「ロボコン大賞」受賞

こどもり少年少女発明クラブ

こどもり少年少女発明クラブ(会長・沼田雅輝)が出場した第17回青森県・げんねんジュニアロボットコンテスト。2月13日(土)六ヶ所村体育館で開催され、同クラブから14人がエントリーしました。

大会は、初級「ロボカップ相撲六ヶ所場所」、中級「オーバー・ヒル・アタック」、上級「ボール・オン・タワーII」の3種目に分かれて行われました。中級部門では、川山雄生くん(小泊中2年)が3位入賞。上級では、長谷川未侑さん(小泊中2年)と升田柊くん(小泊中2年)のペアが3位入賞となりました。

また、審査員特別賞の「技術賞」には長谷川未侑さん、「パフォーマンス賞」には升田柊くん、最高賞の「ロボコン大賞」には磯野海吏くん(小泊中2年)が選ばれました。

受賞した4人は、3月10日(木)に役場を訪問し、小野町長に大会結果を報告しました。町長は「よく頑張った。2年続けて最高賞受賞とは素晴らしい。毎年、良い結果を残しているのは、みなさんの努力の結果だ。また次回も後輩たちに活躍してほしい。期待している」と激励しました。大賞の磯野くんは「名前が呼ばれたときは驚いた。最高賞を貰えて嬉しい。支えてくれたクラブのメンバー、指導員、

家族に感謝しています」と受賞を喜んでいました。

3月5日(土)には、熊本敏彦氏を講師に迎え、今年度最後の講座「そば打ちに挑戦！」が行われました。そば打ちに挑戦した子は、ついでいくのが大変そうでしたが、楽しそうにそばを打っていました。その後、閉講式が行われ今年度の活動を振り返っていました。自分で打ったそばを食べた子どもたちは「美味しくてよかった。次はもっと上手に作りたい」と話していました。

